

マルチスポーツに親しむ意義の認識と普及に向けた取り組み

しのはら
篠原 すみれ

民主市民連合



図 心身共に発達する幼少期に多様な体の動かし方を体験することは、運動への興味や関心を育む上で重要です。マルチスポーツ※の講座も開催されていますが、発信が十分でなく、効果や魅力が保護者に伝わっていないと感じます。幼少期からマルチスポーツに親しむ意義への認識と、普及への取り組みを伺います。

市 答 幼少期に多様な運動に親しむことは、バランス良い運動能力の発達に加え、自分に合うスポーツに出合うきっかけになると考えます。今後は、SNSやアプリを活用して子育て世代にイベントなどの周知を図るとともに、多様な運動体験の意義や効果も普及啓発します。

※同時期に複数の運動や競技に取り組むこと

健康アプリ「アルカサル」の利用促進の取り組み

まるおか もりゆき
丸岡 守幸

健康さっぽろ



図 市民の健康づくりを盛り上げるには、高齢者世代に健康アプリ「アルカサル」の魅力を伝え、利用の輪を広げることが重要です。さらなる普及促進のため、特に70歳以上の利用促進に向けてどのように取り組みますか。

市 答 出前講座や登録イベント、対面サポートなどの結果、高齢者世代にもアプリの活用が広がっています。今後も安心して利用できる環境の整備に加え、その魅力を積極的に発信し、さらなる利用拡大につなげます。

本会議のライブ配信・録画映像に「字幕」がつけました！

市議会では、さまざまな方に配慮した情報発信の推進を目指し、令和8年第3回定例会から本会議の配信映像に字幕を表示しています。音声が届かずに聞いていただく方ももちろん、音が出せない環境での視聴にも便利です。新しくなった本会議の映像をぜひチェックしてみてください。

●配信方法

ライブ配信・録画配信のどちらでも「字幕あり」の映像をご覧いただけます。

●録画配信の公開期間

本会議の約5営業日後から、会議録が公開されるまで（約3カ月間）となります。



▲映像配信

バス利用促進のための取り組み、子ども医療費助成の所得制限撤廃

さとう あや
佐藤 綾

日本共産党



図 バス路線の維持には、若い世代や高齢者などの利用を増やすことが重要です。関係部局が連携して利用促進の施策に取り組むべきだと考えますが、いかがですか。

市 答 利便性向上に向け、再開発と連携したバスターミナル整備や福祉乗車証の交付など、さまざまな施策を各部局で連携して展開してきました。他都市の事例を参考に、さらなる利用促進に取り組めます。



図 子ども医療費助成の所得制限の段階的な撤廃は、対象外となる世帯に負担があるほか、余計な費用を要するため早急に全面撤廃すべきだと考えますが、いかがですか。

市 答 今回は、北海道の補助拡大により財源が確保できた範囲で所得制限の一部撤廃を判断しました。さらなる制限の撤廃には、より多額の財源を要することから、今後の財政状況を見極めながら検討を続けていきます。

苗穂エリアのまちづくり

やまだ いちろう
山田 一郎

自由民主党



図 苗穂エリアは、今後の札幌の成長につながる可能性を持つ地域です。働く、住む、新産業を生み出すなどの機能を備え、企業や人材、投資を呼び込む拠点として形成すべきだと考えますが、どのように整備しますか。

市 答 関係者間で、強靱で高機能な都市基盤と、質の高い生活基盤を備えた拠点の形成などの苗穂エリアのまちづくりの方向性を議論しています。本市としても、この議論に積極的に関わり、都市機能の高度化や集積に向けた土地利用を推進し、札幌・北海道の魅力と活力の向上につなげていきます。



委員会の主な活動状況（9/11～10/10）

厚生委員会

障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例の改正に伴うパブリックコメントの実施について保健福祉局から説明を受け、質疑を行いました。（10/6）

経済観光委員会

（仮称）新MICE施設整備基本計画案および第2次中央卸売市場経営活性化プロジェクト一部改定について経済観光局から説明を受け、質疑を行いました。（10/6）

大雪時の除排雪体制の確保と情報発信、ごみ減量に向けた取り組み

まつばら じゅんじ
松原 淳二

民主市民連合



図 大雪時には、限られた人員や機械を機動的に投入できる体制整備が重要となるだけでなく、必要な情報を市民に確実に提供することも求められます。大雪時の除排雪体制の確保と情報発信にどのように取り組みますか。

市 答 開発局や道と連携し、幹線道路を優先した作業の相互協力や、河川敷地を活用した雪堆積場の確保などに取り組みます。また、除雪事業者の意見を聞きながら排雪作業日程などの情報を提供する準備を進めています。

図 指定ごみ袋以外での排出を認めた期間に、ごみの排出量が増加したことは、指定ごみ袋が市民の減量意識を高めていたことを実証しました。これをきっかけに、市民にごみ減量の必要性を改めて訴えるべきだと考えますが、どのように働きかけていきますか。

市 答 広報活動や、出前講座などの市民対話を通じて、ごみ減量やリサイクルの意義・成果を伝えるとともに、官民連携によるリユースの取り組みなどを進め、減量の実践を働きかけていきます。



地下鉄事業での資産の有効活用、頼れる身寄りのない単身高齢者への支援強化

まえかわ たかし
前川 隆史

公明党



図 地下鉄事業は、乗車料収入だけでは車両や施設の老朽化に対応できず、保有資産を最大限に活用することが重要です。民間事業者の提案を引き出し、社会情勢や市民ニーズに沿った施設活用を進めて収入を拡大する必要があります。とありますが、資産活用に向けてどのように取り組みますか。

市 答 あらゆる資産を活用の対象に拡大し、民間事業者の提案を積極的に取り入れて資産価値の最大化を目指します。これにより生み出した財源を必要な投資へ還元する好循環を構築し、持続可能な経営基盤を確立します。

図 身寄りのない高齢者にとって病気や老いへの不安は深刻であり、家族の存在を前提とした現在の仕組みを変える必要があります。課題を分析した上で支援を検討すべきだと考えますが、いかがですか。

市 答 当事者が抱える課題や社会資源を丁寧に把握し、関係機関と連携しながら、本人の意向や状況に合わせて柔軟に利用できるような支援事業の構築を進めます。



市議会の動き

9月24日に招集された第3回定例会の中から、代表質問の主な内容や、10月10日までに可決した主な議案などについてお知らせします。

第3回定例会（可決した議案など）

○令和8年度一般会計補正予算

○子ども医療費助成条例の一部を改正する条例案

○札幌留學生交流センター条例を廃止する条例案

など、合計34件の議案などを可決しました。

代表質問の映像はこちらから▶



認定こども園での医療的ケア児の受け入れ、通学路の交通安全対策

むらやま たくじ
村山 拓司

自由民主党



図 医療的ケア児の成長と発達には、他の児童と共に安心して地域で暮らせる環境が重要です。一方で、医療的ケア児の1号認定での入園は、認定こども園との直接契約や看護師確保の面でハードルが高い実態があります。園に対して看護師配置への補助金制度を周知するなど、環境整備を促す必要があると考えますが、認定こども園での医療的ケア児の受け入れをどのように進めますか。

市 答 保護者から医療的ケア児の入園の相談があった場合は、看護師の配置に対する補助金活用などを園に促し、入園に向けた伴走支援を行っています。全ての子どもが健やかに育つ環境づくりの大切さを園に対して伝えることで、医療的ケア児の受け入れ拡大を目指します。

図 琴似小学校に面する川添線は、歩道の幅が狭いことに加え、立ち並ぶ電柱が歩行の妨げとなっています。来年の校舎建て替えに伴い、歩行する児童の増加が見込まれており、さらなる対策が必要だと考えますが、安全で安心な通学路の確保に向けてどのように取り組みますか。

市 答 琴似小学校の校舎の建て替えに合わせて、一部の歩道の幅を広げるほか、部分的に電柱を撤去して歩行環境を改善するなど、通学路のさらなる安全対策を推進していきます。

